

市の取り組み

市は、認知症への理解を深めるための事業や、住み慣れた地域で安心して生活が送れるような居場所づくり・交流・相談などを目的とする取り組みなどを行っています。

■ オレンジカフェ ※随時開催

認知症の方、その家族、地域の方などが認知症について理解を深めたり、悩みを打ち明けたりできる交流の場です。認知症に関心のある方であればなたでも自由に参加できます。



■ 認知症サポーター養成講座 ※随時開催

認知症サポーター養成講座を受講した方を認知症サポーターと呼びます。認知症サポーターは、認知症のことを正しく理解し、地域や職場で認知症の方やその家族を見守り支援する「応援者」です。



■ 認知症本人ミーティング

認知症やMCI（軽度認知障害）のご本人のための集いの場です。本人同士が主になって、不安に思うこと、本人だからこそその気づきや意見を語り合い、これからのより良い暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒にお話してみませんか。家族と一緒にでも、本人だけでも参加できます。

開催日：毎月第2火曜日
会場：取手ウェルネスプラザ



■ 図書館での展示

毎年9月に、市内の各図書館が各地域包括支援センターと連携し、「認知症に関する図書コーナー」を設置しています。

展示期間：9月3日(火)～23日(月・振)



■ 市民ギャラリーでの展示

認知症の方が制作した作品を取手、藤代駅の各市民ギャラリーで展示します。

展示期間：9月25日(水)～10月8日(火)



地域包括支援センターに相談しましょう



はあとぴあ
田島さん

緑寿荘
田村さん

さらの杜
長岡さん

なごみの郷
岩田さん

社会福祉協議会
田之上さん

地域包括支援センターとは、認知症を始め、介護、福祉、保健、医療など、さまざまな方面からの高齢者などの支援を行う相談機関です。

各地域包括支援センター職員からのメッセージ

認知症を「自分事」として捉え、地域でともに生きよう

「物忘れがひどくなった」などの認知症と思われる症状の相談が増えてきています。認知症は誰にでも起こり得るもので、初期症状に気づいたら、早めの相談が必要です。各地域包括支援センターでは、相談・面談を通じて医療機関への橋渡しなどを行っています。認知症の方が住みやすい地域をつくるためには、周りの人々の理解と手助け、家族や近所の人たちの協力が必要です。認知症を「自分事」として捉え、地域全体で支え、見守ることが大切です。

各地域包括支援センターの概要

共通事項 受付時間：月～金曜日8:30～17:15(年末年始・祝日を除く)

地域包括支援センターの名称	住所(電話番号)	担当地区
はあとぴあ	井野253 (71-3210)	あおやなぎ 青柳、青柳1丁目、井野、井野1～3丁目、井野台1～2丁目、井野団地、小堀、取手、桑原、おほり 小文間、台宿、台宿1・2丁目、中央町、長兵衛、おもんま 新田、取手1～3丁目、東1～6丁目、吉田、しんてん
緑寿荘	野々井 1926-2 (63-4111)	いな 稲、野々井、井野台3～5丁目、駒場1～4丁目、新町1～6丁目、寺田、中原町、西1・2丁目、白山1～8丁目、本郷1～5丁目
さらの杜	下高井2148 (70-2801)	市之代、貝塚、下高井、上高井、新取手1～5丁目、とがしら 戸頭、戸頭1～9丁目、米ノ井、ゆめみ野1～5丁目
藤代なごみの郷	くぬぎ 桐木1342-2 (70-3756)	はいまつ 岡、和田、山王、配松、神住、中内、桐木、藤代、片、くぬぎ 町、毛有、清水、小浮気、浜田、紫水1～3丁目、けあり 上萱場、下萱場、萱場、大曲、新川、双葉1～3丁目、かみかやば しもかやば おおまがり
社会福祉協議会 ぶじしろ	藤代700 (86-6221)	かんのうら おおとめ 押切、高須、神浦、大留、小泉、谷中、中田、米田、しんてん 浅沼、光風台1～3丁目、宮和田、藤代南1～3丁目、平野、桜が丘1～4丁目

地域での見守りのポイント

見守りはさりげない気遣い

「見守り」は監視や見張りではなく、さりげない気遣いです。「日常の中でいつもと違う」と気づくことが大切です。

- 季節に合わない服装を着ている
- 服が汚れている
- 新聞や郵便物がたまっている
- 最近見かけない など



心配な方を見かけたら
地域包括支援センターに
ご相談ください

※担当となるセンターはお住まいの住所で異なります。左表の「担当地区」をご確認ください。